

2025年度

授業計画

3学年
(歯科衛生士科Ⅱ部)



日本ウェルネス歯科衛生専門学校

目 次

歯科予防処置V	1
歯科保健指導III	2
歯科診療補助V	3
臨床・臨地実習IIIIVV	4
総合演習	5

■科 目	歯科予防処置V	■講師名	宇佐美麻里
II部 3学年	前中期 15 コマ (1コマ 90分授業)	総時間 30 時間	講義 1 単位
■学修概要			
歯科予防処置 I ~IVに続いて歯周疾患の予防処置業務が正しく遂行できるよう、口腔管理に対する知識を深める。			
■授業目的、到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・歯科予防処置の概要がわかる。 ・歯周疾患の病態を総合的に理解する。 ・歯周疾患のリスクの概念を理解する。 ・歯石除去法、歯面研磨法、歯面清掃法、PMTC の知識・技術を理解する。 ・シャープニング法の使用器材・知識・技術を理解する。 ・ライフステージごとの口腔管理について理解する。 ・全身疾患と歯周病の関係性について理解する。 			
■授業方法			
講義			
■教科書（書籍名・出版社）			
歯科衛生学シリーズ／歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版			
■成績評価・講義上の注意			
定期試験、小テスト、課題、授業態度、出席状況により総合的に評価する。			
■実務経験			
歯科衛生士として歯科医院での一般歯科・歯周治療にあたり、歯科衛生士学校の専任教員として勤務。現在は歯科医院にて臨床の経験・技術をより深め、学生へ最新の情報を提供している。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	予防処置の業務内容と法的解釈、予防の概念		
2	歯周組織の基礎知識①正常な歯周組織と病的な歯周組織		
3	歯周組織の基礎知識②付着物と沈着物		
4	歯周組織の基礎知識③歯周疾患のリスクの概念		
5	歯石除去法①探針・手用スケーラーの種類と操作		
6	歯石除去法②機械的スケーラーの種類と操作		
7	歯面清掃法①PTC・PMTC の知識と操作、歯磨剤について		
8	歯面清掃法②歯面清掃器の知識と操作		
9	シャープニングの知識と操作		
10	歯周病学①歯周基本治療		
11	歯周病学②歯周病の分類		
12	歯周病学③全身疾患と歯周疾患の関連性		
13	歯周病学④ライフステージにおける歯科予防処置		
14	臨床における偶発事故とその予防		
15	定期試験 解答解説		

■科 目	歯科保健指導Ⅲ	■講師名	三門 佳子
II部 3学年	前期 15コマ (1コマ90分授業)	総時間 30時間	演習 1単位
■学修概要	1年次、2年次の復習と、臨床実習からの学びをもとに、国家試験に対応できる知識と臨床に活かせる技術を体得する。		
■授業目的、到達目標	歯科保健指導論の総仕上げを目的とする。		
■授業方法	講義、小テスト		
■教科書（書籍名・出版社）	歯科衛生学シリーズ／歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 歯科衛生学シリーズ／保健生態学 医歯薬出版		
■成績評価・講義上の注意	総合評価（出席、授業態度、小テスト等提出物、定期試験等）		
■実務経験	総合病院歯科口腔外科・訪問歯科で得た経験から、臨床における歯科保健指導への活用を伝授したい。		
■授業計画（講義の流れ）			
1	歯科保健指導 概論、健康教育		
2			
3	情報処理、歯科衛生過程		
4	用具別 口腔清掃方法、ブラッシング法		
5			
6	染め出し、INDEX		
7			
8	栄養指導		
9			
10			
11	ライフステージにおける歯科衛生介入		
12			
13			
14	まとめ		
15	定期試験、解答解説		

■科 目	歯科診療補助V	■講師名	山田 陽子
II部 3学年	前期 15コマ (1コマ90分授業)	総時間 30時間	講義 1単位
■学修概要			
高度な歯科診療補助を実践できる歯科衛生士になるために必要な知識、技能、態度を学修する。			
■授業目的、到達目標			
歯科診療補助の総仕上げを目的とし、歯科臨床実務において活躍できる能力を身に付ける。			
■授業方法			
講義、演習			
■教科書（書籍名・出版社）			
歯科衛生学シリーズ／歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版			
歯科衛生学シリーズ／臨床科目 医歯薬出版 他			
■成績評価・講義上の注意			
定期試験、授業態度、出席状況により総合的に評価する。			
■実務経験			
開業医で歯周病治療を中心に歯科臨床実務経験があり、2024年より教育機関での学生対応等で歯科衛生教育の経験を積む。			
■授業計画（講義の流れ）			
1	歯科衛生アセスメント 概論		
2	歯科衛生アセスメント 立案		
3	歯科衛生アセスメント 発表①		
4	歯科衛生アセスメント 発表②		
5	診療補助総まとめ①		
6	診療補助総まとめ②		
7	診療補助総まとめ③		
8	診療補助総まとめ④		
9	診療補助総まとめ⑤		
10	診療補助総まとめ⑥		
11	診療補助総まとめ⑦		
12	診療補助総まとめ⑧		
13	診療補助総まとめ⑨		
14	診療補助総まとめ⑩		
15	定期試験、解答解説		

■科 目	臨床・臨地実習Ⅱ	■指導教員	各歯科医院の歯科医師、歯科衛生士
■時 期	II部3学年 前期 月・火・水・金	■時間数	総時間 450 時間 臨実 10 単位
■一般目標 (GIO)			本実習によって、歯科衛生活動への理解をさらに深めるとともに、歯科衛生士として必要な知識・技術・態度を体得する。
■臨床実習施設			歯科診療所
■参考図書等			臨床実習要領
■成 績 評 価			臨床実習評価表、臨床実習ノート、出席状況により総合的に評価する。
■学習計画	一般目標(GIO)	行動目標(SBOS)	
1 クール 4月～6月 2 クール 6月～8月	臨床実習では、科学的根拠のもとに物事を的確に判断し行動できる能力を体得し、患者の口腔の健康を通して、全人的に関わりのできる医療従事者としての責任を担うものであることを自覚する。	①各診療の流れや手順を理解する ②各診療に必要な器具・器材を準備する ③各診療に用いられる薬剤・材料を準備する ④各診療に用いられる薬剤を説明する ⑤各診療の補助を実践する ⑥清潔・不潔を区別する ⑦スタンダードプリコーションを模倣する ⑧抜歯後の注意を述べる ⑨抜歯後の注意を患者に説明する ⑩口腔内診査の記録を補助する ⑪患者の口腔内状況を把握する ⑫スケーリングを模倣する ⑬歯面清掃を模倣する ⑭フッ化物歯面塗布を模倣する ⑮対象に応じた口腔清掃指導を模倣する ⑯患者のメインテナンス法を理解する ⑰患者と適切にコミュニケーションを取る ⑱患者への配慮をする	

■科 目	総合演習	■講師名	各科目担当講師
Ⅱ部 3 学年	後期	90 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 180 時間
■学修概要			1~3 学年で学習した各科目の知識と技術を統合し、3 年間の総まとめを行う。
■授業目的・到達目標			歯科衛生士になる為に、知識の整理・統合の方法の理解を目的とし、再度知識を確認することで不足部分を補うことを目標とする。
■授業方法			講義
■教科書（書籍名・出版社）			基本的に 1 年生~3 年生で使用した教科書等を参考図書とする。(各科目担当講師の指示に従う) 歯科衛生士書き込み式学習ノート①~④ 医師薬出版
■成績評価・講義上の注意			
■実務経験			
■授業計画（講義の流れ）			
10 月～ 12 月	別途記載		